

柏市シルバー作品展

石焼き芋買うか買うまいかどうしよう



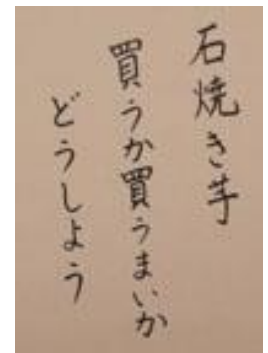
老いの熱意が昇華 思いを伝える俳句や短歌

焼き芋の一句は、きれいな3行詩となつて出品され、詞書がつく。外から焼き芋屋の音が聞こえてきて、「どうしよう…」と迷っている間に、声は遠のいて行ってしまった。

この89歳のおばあちゃん、決断の必要を説いてくれたのだらう。焼き芋屋の音が聞こえたら、すぐ飛び出そう。

孫おわりひ孫にかわるお年玉
ふる里の友も老いたり木の葉髪
お二人とも90歳で同じ施設である。
格調高い短歌も読んだ。

鈴なりにしたたる柿の実色冴えて秋の
斜陽に光輝く 93歳・女性
萎える身にめげずひるまづくじけずと
われ励ましつ通院の道 78歳・女性
寒晴れを茜に染め上げ陽が沈む影絵の
富士に金色の雲 81歳・男性
俳句や短歌は、じかに思いが伝わる。



絵画94点、書道24点、写真24点。出品が65点と目立つのが、百花繚乱の手工芸。左は「つるしびな」、5名の共作らしい。右の絵手紙は絵画に含まれる。左下には「お母さん 三月で95歳になるよ。いっぱい笑っていこうね」と添え書き。95歳の母を励ましている。

末広クラブ・逆井漫歩157 平成23年3月

柏市シルバー作品展
平成23年3月4日～8日
アミュゼ柏1階プラザ